

事業者向け

放課後等デイサービス 事業所 全体評価

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			
	2	職員の配置数は適切であるか		○		・女性利用者の利用が増えているため、女性職員の割合を増やす必要がある。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか		○		・少しずつ業務改善を行われているが、振り返りができていない部分もあり、会議等で取り入れていく。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか		○		・保護者の意向を聞き取りを行っているつもりではあるが、保護者からの「本当の想い」の聞き取りまではできていなく、保護者からも相談されやすい雰囲気づくりが必要。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか			○	・今年度よりホームページで公表していく。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		・第三者評価結果による業務改善を記載し、「そのときだけ！」で終わってしまい、しばらくすると、意識が薄らいでいる業務内容もあり、この自己評価表をもとにして、短期改善目標を立てていく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか		○		・毎月、職員持ち回りで、職員に向け研修を行っており、その中ででの題材として、職員資質向上につながる題材を取り入れていく。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか		○		・支援計画を作成する段階でいつも「本当にこれでいいのだろうか？」という思いが駆け巡る。「本当にこれでいいのか？」という思いをこれからも持ち続け、更にレベルを上げていきたい。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		・アセスメントツールは存在しているが、最適なアセスメントツールか？と見直しを行っていく。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか		○		・土曜開所日の活動プログラムの立案を1人で行われているため、チームで見直し、準備を行う。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか		○		・「固定化」が悪いわけではなく、今あるもののやり方などを変え、更なるステップアップを目指す
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		○		・平日はきめ細やかに設定されているが、休日については「楽しむ時間」として設定されている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・引き続き、状況、個人に応じて、個別活動も取り入れていく
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか			○	・前日の夕方(17:30以降に)翌営業日の活動内容利用者留意点・報告などを行い、翌営業日につなげていく。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか			○	・前日の夕方(17:30以降に)翌営業日の活動内容利用者留意点・報告などを行い、翌営業日につなげていく。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			・記録、検証・改善に向け取り組んでいるが、それを職員全体に広げられていないため、周知していく。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか		○	自己評価表を通し、ガイドラインの総則を学んでいく
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか		○	・児童によっては保護者を通し、情報共有を行ったりしているが、すべての児童までできていない。そのため、職場体験・実習等の機会を通し、先生とのパイプ作りを行う。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○	・「医療ケアが必要な方々」についても知識を深めていく。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○	・今後、利用開始時、必要に応じて情報共有を行っていく。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○	・今現在、情報提供を行っていないが、今後、もし確認された場合、保護者の同意を得て、情報提供を行っていく。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○	・必要に応じて、連絡等は入れて、アドバイス等いただいている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	・長期連休等、児童館の利用を行っていたが、年齢・環境等の兼ね合いもあり、難しい部分もあった。 地域の公園の散歩等を通し、地域の方との交流は続けていく。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		○	・職員体制上、難しい場面もあるが、今年度より交替で参加していく。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか		○	保護者からのお話を聞き、こちらからアドバイスできることをお伝えしている。 保護者の方、事業所に言いにくい部分もあるかもしれず、言いやすい、相談しやすい雰囲気づくりをまず心掛ける。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか		○	保護者からのお話を聞き、こちらからアドバイスできることをお伝えしている。 (傾聴・共感の部分を忘れない) 保護者の方、事業所に言いにくい部分もあるかもしれず、言いやすい、相談しやすい雰囲気づくりを心掛ける
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	・一年に一度、法人の「後援会」があり児童の保護者にも呼びかけていく。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか		○		・苦情等あった場合、迅速に職員で打ち合わせを行い、解決策を検討し、保護者にも報告し、実行に移す。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○		・会報は定期的に配布しているが、行事予定(土曜開所日)については連絡が遅くなってしまうことが多く、決まり次第(一週間前までに)、保護者にお伝えするよう心掛ける。また予定表を職員・利用者で作成し、掲示する。
	35	個人情報に十分注意しているか		○		・注意しているつもりではあるが、職員間伝達の際、利用者の前で他者のことを伝えてしまうことがあるため、今後は場所・時間等を配慮していく。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか		○		・配慮しているつもりであるが、今後更に模索して、改善策を検討していく。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			・今現状として、地域の自治会・サークル活動のため事業所を活用してもらっている
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		・作成はされているが、周知されていない部分も多いため、マニュアル説明・読み合わせを行う。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか			○	・昨年度、実施できていなかったため今年度から実施。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			・引き続き、事業所内で虐待防止に向けた支援を行っていく。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○		・身体拘束等防止に向け、会議等で個人に応じた手順書を作成し対応していく。またどうしても身体拘束が必要な場合、切迫性・非代替性・一時性の原則を守り、手順書も踏まえ保護者等に説明する。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		・利用者のアレルギー把握が統一されていないことがあり、今年度より個別の留意点表を作成し、職員で周知させる。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		○		・ヒヤリハット等作成されているが、一部の職員の記入にとどまっているため、夕礼等で共有し、改善策を検討していく。